

## トピックス

### ・沖教授（環境生命科学研究科）が県文化賞受賞

本学大学院環境生命科学研究科の沖陽子教授（環境学）が、県の文化向上に貢献した個人・団体に贈られる本年度県文化賞に選ばれました。

沖教授は水生雑草の浄化機能を活用した環境修復に関する実証実験を国内外で実施。児島湖流域で活動する環境保全団体「児島湖流域エコウェブ」の会長も務めています。贈呈式は2月16日に岡山市内であり、伊原木隆太知事から表彰状や賞牌が贈られました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id4329.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4329.html)

### ・学生が本学のグローバル化を協議 森田学長に提案書提出

本学のグローバル化を考える特別講座を受講した日本人学生、留学生たちが2月12日、森田潔学長に国際化に向けた提案書を提出しました。「留学をさらに促す奨学金制度の創設」「外国人教員の雇用増加」など、さまざまな提案をしました。

講座は、昨年12月から今年1月まで計4回あり、日本、アメリカ、ドイツなど7カ国の学生計25人が参加。留学生にとって過ごしやすい環境づくりなどを協議しました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id4318.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4318.html)



## 最近の大学の取組

### ・鏡野町、日本原子力研究開発機構と協定締結

本学は2月4日、岡山県鏡野町、独立行政法人日本原子力研究開発機構と三者間における連携協力に関する協定を締結しました。本学と鏡野町が緊密な連携を図り、研究の基盤を有する日本原子力研究開発機構・人形峠環境技術センターを加えた三者により、研究協力と人材育成の活動を通じて地域のみならず、日本と国際社会へ貢献することを目的としています。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id4297.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4297.html)

### ・医療展示会「中央西日本メディカル・イノベーション2015」開催

本学研究推進産学官連携機構は2月17、18日、Jホール（本学鹿田キャンパス内）で、医療展示会を開催しました。2日間にわたり、5つの講演・パネルディスカッション、本学研究者と企業による35テーマの展示、本学研究シーズや医療現場からのニーズなど16テーマの発表などを行いました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id4343.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4343.html)

### ・若手トップリサーチャー 東准教授、頼藤准教授を表彰

本学は、優れた業績を挙げた若手研究者を顕彰する「岡山大学若手トップリサーチャー研究奨励賞」の本年度受賞者に社会文化科学研究科の東陽一郎准教授、環境生命科学研究科の頼藤貴志准教授を選びました。2月19日に学長室で表彰式を行いました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id4347.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4347.html)



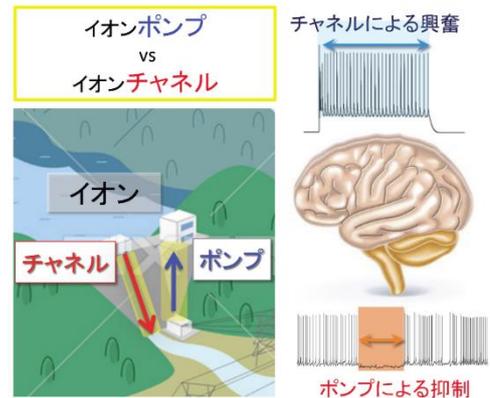
## 最近注目の研究

### ・電位を制御する人工タンパク質を創成

本学大学院医歯薬学総合研究科(薬)の須藤雄気教授、名古屋工業大学工学研究科の井上圭一助教(JST・さきがけ研究員兼任)らの共同研究グループは、電気信号を制御するタンパク質の機能を人工的に創成することに世界で初めて成功しました。本研究成果は2月24日、アメリカ化学会誌『Journal of the American Chemical Society』電子版に掲載されました。

本研究成果は、脳神経活動をはじめとした生命活動の制御やイオン輸送の方向性の理解につながります。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id267.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id267.html)



### ・がん細胞のリンパ節転移を完全に消去する新たな遺伝子改変ウイルス製剤を用いた治療法の開発

本学大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学分野の藤原俊義教授、岸本浩行助教、菊地寛次医師らの研究グループは、がん細胞を選択的に殺傷する遺伝子改変ウイルス製剤「テロメライシン」を用いて、消化器がんのリンパ節転移を低侵襲的に完全に消去する新たな治療法を開発し、ヒト大腸がんを直腸に移植したマウスでその効果を実証しました。本研究成果は1月20日、米国の科学雑誌『Molecular Therapy』(Nature Publishing Group)電子版で公開されました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id264.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id264.html)

## 学生の活躍

### ・本学大学院生が「学生によるビジネスアイデア提案コンテスト」で優秀賞、奨励賞

本学自然科学研究科機械システム工学専攻の大学院生でつくる2チームが、「第13回学生によるビジネスアイデア提案コンテスト」(キャンパスベンチャーグランプリ中国、日刊工業新聞社主催)で、テクノロジー部門優秀賞(ツネイシパートナーズ賞)と奨励賞をそれぞれ受賞しました。本学からの受賞は4年連続です。



参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id4274.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4274.html)

## 行事予定

- ・第2回 D-café (博士との交流会)  
3月7日(土) 若手研究所キャリア支援センター
- ・公開講座・ミニシンポジウム「地震・断層・粘土そして水—地震と断層の理解のために—」  
3月17日(火) 環境理工学部大会議室

岡山大学は、以下のページでも情報を発信しています

- ・岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>
- ・岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>
- ・岡山大学 Twitter [https://twitter.com/okayama\\_uni](https://twitter.com/okayama_uni)
- ・岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学総務・企画部 企画・広報課

Tel : 086-251-7293, 7292 Mail : [www-adm@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:www-adm@adm.okayama-u.ac.jp)